

事業実績書

団体名	阿知須地域づくり協議会
-----	-------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

支えあう心 住みつづけたいまち あじす

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	「みんなが主役元気のあるまちをめざして」		
	事業名	人材育成事業	決算額	316,346円
②	視点	「みんなで作るきれいなまちをめざして」		
	事業名	地域内観光資源整備事業	決算額	1,092,546円
③	視点	「すばらしい阿知須の財産を守り人材を活かすまちをめざして」		
	事業名	地域を元気にする支援事業	決算額	429,414円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①第3次地域づくりの活動テーマの一つである「すばらしい阿知須の財産を守り人材を活かすまち」の事業のとして、令和3年度はSUPインストラクターを養成した。この事業は、子ども達がSUPを通して地域の自然に親しみ地域の自然の良さを体感することで、地域への愛着も生まれ子ども達も住みつづけたいまちを目指しこれまで実施してきた事業を、企画運営するリーダーを養成するもので、10人のインストラクターが誕生した。このことにより、令和4年度からは地域づくり協議会の事業に新たな人材が加わることになる。	○
②阿知須の豊かな自然を守り育て潤いと安らぎのあるまちを目指し、観光資源の魅力向上と発信のため、阿知須合同納骨塔周辺の緑化、公園化「あじすふるさとの丘公園」を目指しボランティアの定期的な活動をおこなっている。令和3年度は周辺の景観をよくするため、竹藪を伐採後の枯れた竹の処分を行った。このことによりこれまでこの地から見ることで見えない景色(阿知須の海、きららドーム等)が見えるようになり、この地で四季折々に咲き誇る花の観賞に来た人にさらなる楽しみと感動を与えることが出来るようになった。今後は竹を処分した地も含め「あじすふるさとの丘公園」の全体像をこれから事業部会で検討することになっている。	△
③5年目を迎えたSUP体験会は、コロナ禍での開催のため、昨年度に引き続きコロナ対策に配慮した運営を心がけた。特に令和3年度はインストラクターの確保に苦慮しながらの開催になった。このため、インストラクターの確保のため、養成講座を開催し10名のインストラクターを誕生させることが出来た。今後は、このインストラクターがSUPの普及組織を立ち上げ、これまでの体験会の企画運営に取り組むことになる。この体験会にはこれまで地域外からの参加者もあったが、今後はさらに多くの地域外からの参加が予想されるため、普及組織への期待が大きくなっていく。	○

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

今年度、第3次阿知須地域づくり計画の初年度で、計画実現のため三つの事業部会(地域振興・地域個性創出、環境づくり、地域福祉・安心安全)がこれまでの事業・活動の評価、改善を基に積極的な事業・活動を目指し取り組もうとしていた。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の防止等の観点により、さまざまな社会活動が自粛され計画どおりの事業活動が実施できず残念でならない。そこで、今後は第3次地域づくり計画実現のためにウィズコロナ、アフターコロナを踏まえ、地域の皆が地域に愛着を持ち地域を皆で育てるための環境づくりに努めることがこれまで以上に必要と思われる。

5 事業内容

(1)協議会運営

事業費	4,024,493円
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数)事務局長:1名 事務局員:2名 (運営費の主な内容)事務局人件費、事務費 (成果・評価)年間を通じて滞りなく事務運営を行なうことができた。 (今後に向けて)よりスムーズに事務運営を行うため体制を強化していきたい。

(2)地域振興

事業名	人権教育推進支援事業
事業費	150,000円
事業概要	(実施内容)人権教育コンクールを実施(8月~9月実施) ポスター印刷、自治会配布 (実施時期)令和3年4月1日~令和4年3月31日 (参加人数)1,000人 (成果)児童、生徒だけの取り組みだけでなく、地域にも根づくようになった。 (評価)特に児童、生徒の取り組みは地域から評価されている。 (今後に向けて)今後も人づくりの一環として事業・活動を推進する。

事業名	生涯学習・スポーツ支援
事業費	180,000円
事業概要	<p>(実施内容) 阿知須オリンピック・AJISU駅伝大会を共催 自治公民館での生涯学習、コミュニケーションづくり推進のための活動に対して支援</p> <p>(実施時期) 令和3年4月1日～令和4年3月31日</p> <p>(参加人数) 1,000人</p> <p>(成果) 地域住民の健康づくりと親睦が図られている。 自治会内のコミュニケーションを図ることにより、コロナ禍ではあるが、自治会活動の活性化を図ろうとしている。</p> <p>(評価) 地域活動や自治会活動への参画意識の高まりに期待できる。</p> <p>(今後に向けて) 今後も支援して行きたい。</p>

事業名	人材育成
事業費	316,346円
事業概要	<p>(実施内容) 阿知須まちづくり応援事業実施団体支援(2団体) 地域未来づくり促進特別交付金を活用してSUPインストラクターを養成講習会開催</p> <p>(実施時期) 令和3年4月1日～令和4年3月31日</p> <p>(参加人数) 400人</p> <p>(成果) 応援事業の取り組みや、SUPインストラクターの養成等人材育成に努めた。</p> <p>(評価) 地域おける人づくりを基本し、そこから交流のまちづくりへと期待が出来る。</p> <p>(今後に向けて) 人づくりを地域づくり協議会の重要課題として取り組む。</p>

事業名	情報発信
事業費	495,500円
事業概要	<p>(実施内容) 阿知須地域づくり協議会だよりの発行、ホームページ管理 自治会広報紙発行への支援(5自治会) メール配信事業の支援(5自治会)</p> <p>(実施時期) 令和3年4月1日～令和4年3月31日</p> <p>(参加人数) 5,000人</p> <p>(成果) ホームページにより地域の幅広い年齢層に情報発信することで地域づくり協議会への理解協力を得ることができた。 また、各自治会が積極的に自治会広報紙の発行に取り組む気運がたかまった。</p> <p>(評価) 自治会広報誌の発行を推進するためには、各自治会の運営にかかる人材確保と養成が必要。</p> <p>(今後に向けて) 単位自治会での広報紙の発行を推進するため、発行支援の拡充を図る。</p>

事業名	地域づくり計画策定
事業費	93,500円
事業概要	<p>(実施内容) 第3次計画のダイジェスト版を印刷発行し、地域内全戸に配付した。</p> <p>(参加人数) 4,000人</p> <p>(成果) 地域住民へ、地域づくりのための事業、活動は、地域づくり計画が基本であることへの周知が出来た。</p> <p>(評価) 新たな気持ちで計画を意識することが出来るようになった。</p> <p>(今後に向けて) 今回の計画実現のため、地域の皆が第3次計画を共有し、地域の皆が事業活動に取り組むことになる。</p>

事業名	食と農の関係づくり
事業費	88,658円
事業概要	<p>(実施内容) 「きらら家彩農園」の管理・運営</p> <p>(実施時期) 令和3年4月1日～令和4年3月31日</p> <p>(参加人数) 利用世帯 13世帯 72人</p> <p>(成果) きらら家彩農園の活性化を図るため、耕運機1台を導入した。このため、利用者は土作りも容易くなり、これからの野菜作りへの期待が膨らんできた。</p> <p>(評価) 農園開園以来、地域外から利用のための問い合わせも多く、今回の耕運機の導入で、農園としての環境が全て整った感がある。</p> <p>(今後に向けて) 利用者同士そして、地域の皆との交流をさらに高めたい。</p>

(3) 地域福祉

事業名	子育て支援
事業費	40,000円
事業概要	<p>(実施内容) 赤ちゃん中学生とのふれあい実施団体の打合せ、スライド作成、赤ちゃん人形購入への支援</p> <p>(実施時期) 令和3年4月1日～令和4年3月31日</p> <p>(参加人数) 160人</p> <p>(成果) 子育ての悩みを相談したり、大変さを理解してもらうことにより、子育てに自信を持ち楽しく向き合える仲間を増やすことが出来た。</p> <p>(評価) 子育て世代のネットワークを広げることができ、思春期学習の為にスタッフの育成が出来た。</p> <p>(今後に向けて) 今後も支援していきたい。</p>

事業名	健康づくり推進支援
事業費	146,605円
事業概要	<p>(実施内容) 活動量計を意識しながらの生活習慣づくり「チャレンジ！フィットネスinあじす」健康講座の開設。 なお、この事業の指導助言者として、NPO法人山口ヘルスプロモーションネットワークに業務委託をしている。</p> <p>(実施時期) 令和3年4月1日～令和4年3月31日</p> <p>(参加人数) 200人</p> <p>(成果) 健康づくりに積極的で、参加者の多くが強い意欲をもって健康づくりに取り組めた。</p> <p>(評価) 介護予防にもつながる健康づくり、体力づくりを日頃から心がけるようになった。</p> <p>(今後に向けて) 今後も健康づくり活動を支援して行きたい。</p>

事業名	青少年健全育成
事業費	542,748円
事業概要	<p>(実施内容) 青少年健全育成協議会事業への支援、山口県けん玉道大会共催 教育ネット 地域連携カリキュラム「7つのゆめのたね」をモチーフにしたマスコットキャラクターの募集選定及び成果物への支援、中学生へ焼き芋提供</p> <p>(実施時期) 令和3年4月1日～令和4年3月31日</p> <p>(参加人数) 1,200人</p> <p>(成果) 地域の大人が地域の子どもを温かく見守ってくれている。 子どもたちと地域の大人とのふれあいの場が提供できた。</p> <p>(評価) 子どもたちを地域で見守り、育んで行くための気運が高まってきている。</p> <p>(今後に向けて) これからも地域の子どもたちを地域の皆で育てる「7つのゆめのたね」周知徹底への支援を行う。</p>

事業名	高齢者対策事業
事業費	80,000円
事業概要	<p>(実施内容) コミュニティ交通協議会活動支援</p> <p>(実施時期) 令和3年4月1日～令和4年3月31日</p> <p>(参加人数) 150人</p> <p>(成果) 高齢者等の交通手段としてのコミュニティ交通を運営する協議会を支援することで継続運行に寄与した。</p> <p>(評価) 同上</p> <p>(今後に向けて) 今後も活動を支援して行きたい。</p>

事業名	支えあい意識の向上事業
事業費	27,120円
事業概要	<p>(実施内容) 支えあい活動推進事業、世代間ふれあい事業検討部会開催(自治会等への啓発活動)</p> <p>(実施時期) 令和3年4月1日～令和4年3月31日</p> <p>(参加人員) 40人</p> <p>(成果) 地域での子どもと大人との交流活動及び見守り活動の一環として、事業の取り組みに努めたが地域の反応が弱い。 コロナ禍で期待も難しい現状である。</p> <p>(評価) 地域の大人と子どもとの交流を定期的に行っている自治会があることから、これをモデルに地域への輪を広めたい。</p> <p>(今後に向けて) 地域の課題解決のため、自治会事業として取り組めるよう制度の見直しを検討する。</p>

(4) 安心・安全

事業名	地域防災意識向上
事業費	102, 530円
事業概要	(実施内容) 地域防災モデル事業活用(1自治会) (実施時期) 令和3年4月1日～令和4年3月31日 (参加人数) 250人 (成果) 地域防災モデル事業で「カマドベンチ」の政策に取り組んだ自治会を支援 (評価) 地域防災の意識が高まり、自主防災組織の強化に努める気運の高まりがうかがえた。 (今後に向けて) 今後も地域防災意識の高揚に努める。

事業名	メール配信
事業費	66, 000円
事業概要	(実施内容) 緊急時のメール配信、登録者拡大のための周知 (実施時期) 令和3年4月1日～令和4年3月31日 (参加人数) 1, 000人 (成果) 防犯情報、地域で行われる行事等の周知ができた。 (評価) 地域情報の共有ができ情報を早く知るため単位自治会での登録(5自治会)も増えてきている。 (今後に向けて) さらに登録者及び単位自治会での登録を推進する。

(5) 環境づくり

事業名	環境美化推進
事業費	299, 294円
事業概要	(実施内容) ・地域の環境美化活動の一環として、単位自治会、中学生ボランティアがプランターの花植 ・県道善和阿知須緑花ボランティアの取組み以外のツリーサークル内を草刈 ・千鳥ヶ浜海岸清掃 (実施時期) 令和3年4月1日～令和4年3月31日 (参加人数) 700人 (成果) 自治会単位で、花植えてゴミ集積所周辺の環境美化活動に取り組んでいる。今年度も中学生のボランティアが駅通りのプランターの世話を積極的に取り組み地域の皆から好評を得た。なお、コロナ禍で中学生が活動できない時期は、地域市民が補うことで、新たなボランティアを発掘することが出来た。海岸清掃は風雨の中、フェイスシールドと雨具を着用しての実施であったが、地域の自然を大事にする皆の意識の方が強く、天候も回復してきた。 (評価) 環境美化活動のためのボランティア意識が高く積極的に活動されている。 (今後に向けて) 参加意欲をさらに高めながら今後も継続していく。

事業名	地域内観光資源整備
事業費	1, 092, 546円
事業概要	(実施内容) あじすのふるさとの丘公園への取組み(竹藪伐採で環境整備、桜園の草刈り、アジサイ道路(遊歩道)の管理、 (実施時期) 令和3年4月1日～令和4年3月31日 (参加人数) 300人 (成果) 地域の自然環境を活かしながら、交流のまちを目指す事業・活動として地域の皆が着目するようになった。 (評価) 季節季節での人訪れも多くなり、地域の自然を活かし交流のまちを目指す目標意識が高まってきた。

(6) 地域個性創出

事業名	あじす発信イベント支援
事業費	483, 200円
事業概要	(実施内容) 阿知須の文化を発信し、産業振興を目指す事業(ひなもんまつり)を支援 (実施時期) 令和3年4月1日～令和4年3月31日 (参加人数) 2,000人 (成果) コロナ禍だからこそ、新たな発想でイベント運営に努められた。 (評価) コロナ禍でのイベント開催は皆が苦慮し、2年間の休止はイベント開催への陰りを懸念する。 (今後に向けて) コロナ禍のように非常事におけるイベント開催の確かな指針を望む。

事業名	文化を守り継承発展させる支援
事業費	39, 000円
事業概要	(実施内容) 伝統芸能・地域文化継承団体支援 (実施時期) 令和3年4月1日～令和4年3月31日 (参加人数) 200人 (成果) コロナ禍の折にもかかわらず、地域の次世代に伝統文化の継承に努められた。 (評価) 郷土の芸能文化を継承することで、子どもと大人との絆も深まり阿知須地域の伝承活動の輪が広がりつつある。 (今後に向けて) 郷土芸能文化の継続は高齢化が進むことで、伝承団体も苦勞が絶えない。このため人材確保への支援体制を整え

事業名	文化を高める支援
事業費	100, 000円
事業概要	(実施内容) 生涯学習(文化活動の振興と推進)団体の支援 (実施時期) 令和2年4月1日～令和3年3月31日 (参加人数) 1, 000人 (成果) 阿知須の文化を振興と発展を願い、コロナ禍の折にもかかわらず新たな発想で、それぞれの活動に取り組まれた。 (評価) 心豊かな文化を創造するための活動が意欲的に行われている。 (今後に向けて) 高齢化に対応した文化振興のための組織運営への支援策を検討する。

事業名	地域を元気にする支援
事業費	429, 414円
事業概要	(実施内容) スタンドアップパドルボード(SUPボード)購入、普及、体験会実施 体験会は、10日間を計画し、内4日は台風や雨天のため、中止となり6日間の実施となった。 (実施時期) 令和3年4月1日～令和4年3月31日 (参加人数) (成果) スタンドアップパドルボード(SUPボード)体験会は6日間開催し延べ106人が参加した。 (評価) コロナ禍での開催にもかかわらず、参加者はSUPを通じ阿知須の自然を満喫しながら、親子との絆を高めることが出来た。 (今後に向けて) SUPインストラクター取得者の企画運営で、今後は体験会を開催し交流人口を増やしたい。